

平成 24 年 10 月 2 日 00086 号

編集者:佐藤 寿 春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】 少林寺拳法武道専門コース (東北北海道地区開催)

9月23日(日)北見市立体育センターにおいて2012年度9月、東北北海道地区の少林寺拳法指導者育成の研修会が開催されました。釧路、帯広、網走、北見などからスタッフ含め約40名が出席し、本部教師、池上治男先生(正範士7段)を招いて、内容は、午前中1時限は「金剛禅の調和の思想」と題して、指導者としての資質を高めるための講和をいただきました。午前中2時限は法形の研究として運用法(自在変化の攻撃)に対する攻防について研究を行いました。午後からは各科(予科、本科、高等科、研究家、武専研究員)に分かれての技術修練を行い、最後に本研修会の成果として何組か演武披露を行い、研修会を終了し、指導者として資質を高める有意義な一日となりました。※武道専門コース(旧武道専門学校)は1992年に本部より開校の許可をもらい現在に至っています。(少林寺拳法協会 宮末政則)



【第17回オホーツク中学校柔道新人大会】9月16日第17回オホーツク中学校柔道新人大会中体連新兼第19回横井杯争奪北海道柔道団体優勝大会予選大会の成績結果です。団体戦優勝:【男子】遠軽町立遠軽中学校【女子】北見市北光中学校、準優勝:【男子】紋別市立潮見中学校【女子】網走市立第三中学校、三位:【男子】網走市立第二中学校【女子】遠軽町立南中学校・紋別市立紋別中学校。個人戦優勝【男子】-50kg坂本陽貴、-55kg小村光紀、-60・66kg佐伯日向、-73・81kg芝田渉、90kg以下・90kg、超津村陵太【女子】-44・48kg富田野乃花、-52・57kg小石川真優、-63kg村田茜70kg以下・70kg超伊藤彩乃



第42回東北海道柔道スポーツ少年団柔道大会 9月17日(月)第42回東北海道柔道スポーツ少年団柔道大会でのオホーツク圏出場団体の成績は次の通りです。【小学4年生以下の部】で網走飯田塾(準優勝)北見練心会、北見なかざわ塾(3位)【小学5・6年の部】光柔会北見柔道スポーツ少年団(3位)【中学男子の部】北見なかざわ塾(準優勝)・心技館薩川道場(3位)

【柔道協会ビールパーティー】9月27日(木)北見市柔道協会が主催する毎年恒例ビールパーティーがホテル黒部にて盛大に行われました。多くの来客者で賑わい、メインイベントの生マグロ解体では、多くの方がカメラを片手に歓声を上げていました。また、振舞われた刺身を口にすると「おいしい！」と会場のいたるところから声があがり、同時に抽選会も行われ、こちらも多くの歓声があがっていました。



連載【週刊氷川丸】 ⑤嘉納治五郎と氷川丸 2

嘉納治五郎は、東京開催を支持した米国のIOC委員を表敬訪問するため、欧州からアメリカにわたります。敬訪問後、日本に戻る為カナダバンクーバーより氷川丸に乗船します。しかし、日本へ出発直後に突如発熱し肺炎を引き起こします。氷川丸の船内で手当てをつくしますが、日本に着く2日前1938(昭和13)年5月4日に逝去しました。享年77歳でした。嘉納治五郎の急逝によって、日本政府は1938(昭和13)年7月15日東京オリンピック返上を決めます。1940年に開催されるはずのオリンピック東京開催は幻となりました。その後日本は1939(昭和14)年ノモンハン戦争・第二次世界大戦と悲惨な戦争へと突き進んでいきます。国外でも嘉納治五郎の死に合わせるかのように1938(昭和13)年11月9日ヒトラー政府がユダヤ人迫害の激化が開始されます。次週は救世主の氷川丸をお伝えします。

